

レジメン名

Atezolizumab+CBDCA+PEM

出典 テセントリク適正使用ガイド 2020年12月作成
IMPOWER132試験

対象疾患

切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

 進行・再発
 補助療法(術前・術後)

実施部署区分

 入院 外来 処置

投与減速の基準(テセントリク)

その他 Grade1のInfusion reaction:投与速度を50%に減速。軽快後30分間経過観察し再発しない場合には投与速度を元に戻すことが可能。Grade2のInfusion reaction:投与を中断し軽快後投与速度を50%に減速し再開。

投与減量の基準(CBDCA, PEM)

	条件	PEM	CBDCA
血液毒性	ANC500/mm ³ 未満かつPLT5万/mm ³ 以上	前回用量の75%	前回用量の75%
	PLT5万/mm ³ 未満	前回用量の75%	前回用量の75%
	ANC1000/mm ³ 未満かつ38.5℃以上の発熱	—	前回用量の75%
	PLT5万/mm ³ 未満かつGrade2以上の出血	前回用量の50%	前回用量の50%
下痢	Grade3、4又は入院を要する場合	前回用量の75%	前回用量の75%
悪心・嘔吐	Grade3、4	—	前回用量の75%
神経毒性	Grade2	前回用量の75%	前回用量の75%
	Grade3、4	前回用量の50%又は中止	前回用量の50%又は中止
その他	AST/ALT:200IU/L以上でCBDCA前回用量の75% 他の非血液毒性:Grade3以上で前回用量の75%		

投与中止の基準(テセントリク)

AST,ALT	120IU/L以上	T-bil	1.8mg/dL以上
その他	Grade2以上または再発性の肺炎・肺炎・下垂体炎・下垂体機能低下症、Grade2以上の大腸炎・下痢、副腎機能不全、神経障害・腎炎・心筋炎・眼障害、Grade2以上またはGrade3の再発の筋炎、Grade3以上のアミラーゼまたはリパーゼ高値・高血糖・皮膚障害・Infusion reaction、症候性の甲状腺機能低下症・甲状腺機能亢進症、TSH0.1mU/L未満の無症候性の甲状腺機能亢進症、脳炎、髄膜炎、ギラン・バレー症候群、重症筋無力症、1型糖尿病		

投与中止の基準(CBDCA, PEM)

ANG	1500/mm ³ 未満	PLT	10万/mm ³ 未満
CCr	45mL/min未満		
その他	AST/ALT800IU/LでCBDCA中止		

1クール期間 21日

総クール数 PDまで

(次のクールまでの標準期間)

※4-6コース後は維持療法としてAtezolizumab+PEMのみを投与

薬剤名・略号	1日投与量	投与方法	投与速度(時間)	投与日(d1, d8等)
アテゾリズマブ(テセントリク)	1200mg	NS250mL	60分 [※]	day1
※初回投与の忍容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。				
ペトレキセド	500mg/m ²	NS50mL	10分	day1
カルボプラチン	AUC6(GFR+25)	5%TZ250mL	60-90分	day1
カルボプラチンの投与量計算に用いるGFRはCockcroft-GaultとeGFR×BSA/(1.73×0.715)のうち低い値を採用。安定性の観点から、カルボプラチンの希釈液は5%TZを基本とする。				
ペトレキセド投与1週間以上前～最終投与日から22日目まで、葉酸0.5mg/日を連日経口投与とビタミンB12 1mg/回を9週間毎に筋注。				

1日投与順 (経時的に「プレメディアーション・ポストメディアーション、溶解液まで含む」)
<p>《導入療法》</p> <p>day1</p> <p>①生食50mL(ルート確保用)</p> <p>②テセントリク1200mg+生食250mL(60min[※]) 0.2又は0.22µmのインラインフィルターを使用</p> <p>③生食50mL(フラッシュ)</p> <p>④アロキシ0.75mg/バッグ+テキサド6.6mg(15min)</p> <p>⑤生食50mL(フラッシュ)</p> <p>⑥ペトレキセド500mg/m²+生食(100mL)50mL(10min)</p> <p>⑦生食50mL(フラッシュ)</p> <p>⑧CBDCA(AUC6)+5%糖液250mL(60-90min)</p> <p>⑨生食50mL(フラッシュ用)</p> <p><内服></p> <p>day1</p> <p>アプレビタトカプセル 125mg 抗がん剤投与と60-90分前</p> <p>day2及び3</p> <p>アプレビタトカプセル 80mg 分1朝食後</p> <p>デカドロン4mg 1錠 分1朝食後</p> <p>《維持療法》</p> <p>day1</p> <p>①生食50mL(ルート確保用)</p> <p>②テセントリク1200mg+生食250mL(60min[※]) 0.2又は0.22µmのインラインフィルターを使用</p> <p>③生食50mL(フラッシュ)</p> <p>④テキサド6.6mg+生食50mL(15min)</p> <p>⑤生食50mL(フラッシュ用)</p> <p>⑥ペトレキセド500mg/m²+生食(100mL)50mL(10min)</p> <p>⑦生食50mL(フラッシュ)</p>